

藤沢市藤澤浮世絵館発行 第十一号

ござも浮世絵しんぶん

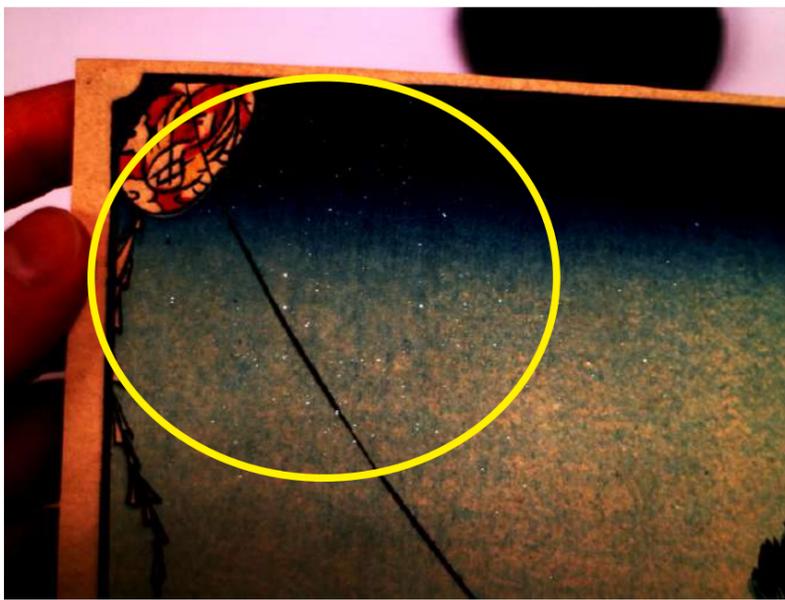


うたがわひろしげ ごじゅうさんつきめいしよすえ ふくろい めいぶつえんしゅうだこ
歌川広重 「五十三次名所図会 袋井 名物遠州風」

ふじさわうきよえかん
藤澤浮世絵館では、歌川広重の「五十三次名所図会」（通称…
たてえとうかいどう
縦絵東海道）のシリーズを展示しているよ。カラフルで美しい風景
を、遠くから眺めるように描いているのが特徴なのだけれど、この
シリーズには、他とは違う特別な摺りがされている作品もあるよ。
うきよえ
この浮世絵もその一つなのだけれど、どんな摺りがわかるかな？

えどじだい 江戸時代のレアカード！？ キラキラの浮世絵！！

答えはキラキラしている摺りだよ！ 浮世絵を
拡大してみると、一番上の青い空の部分がラメの
ように、キラキラしているのがみえるね。



2022年4月17日までに藤澤浮世絵館に行けば、実物を近くで見られるよ！

※分かりやすくするため、
画像の加工をしています。

○の中に注目してみよう！
キラキラしているのが分かるかな？



これは雲母
摺っていう摺り
なんだ。雲母
摺は雲母って
いう石の粉を浮
世絵に摺って作
るんだ。いくつ
か方法があるけ
れど、この絵で
は絵の具に直接
雲母の粉を混
ぜて摺っている
よ。

雲母摺は額に入った浮世絵だと見えにくいけれど、斜め下から見るとキラキラしているのが見えるよ。江戸時代の人たちは浮世絵を直接手にとって楽しんだから、こんなに近くで見ても初めてわかる工夫がされたんじゃないかな。今でいうレアカードみたいだね！